

ソ連 U.S.S.R.

■1987年度ソ連スポーツ・ベストテン
ソ連スポーツ記者連盟が選ぶ「87年度ソ連スポーツ・ベストテン」が昨年12月27日に発表されました。今回は例年と異なり、選出された選手のランク付けは行わず、アルファベット順で発表されました。

- ◇セルゲイ・ペログラゾフ(レスリング)
- ◇ドミトリー・ピロゼルチェフ(体操)
- ◇セルゲイ・ブブカ(棒高跳び)
- ◇ニコライ・グリャエフ(スピードスケート)
- ◇セルゲイ・ザポロトノフ(競泳)
- ◇ユーリ・ザハレビチ(重量挙げ)
- ◇カリー・カスバロフ(チェス)
- ◇シャルナス・マルチュレニス(バスケットボール)
- ◇タチャーナ・サモレンコ(陸上)

今年度のベストテンに選ばれた女性は、残念なことに、タチャーナ・サモレンコただ一人でした。彼女は26歳の体育大生で、陸上中距離が専門です。昨年行われたローマの世界選手権では、1500m、そして3000mに優勝しました。

粒ぞろいのソ連女子陸上中距離界の中でも特に若手の有望株として、一身にその活躍が期待されています。
〔APN〕

中国 China

■たくましく乙女たち
第1回国際女子重量挙げ選手権が、昨年10月28日から11月1日まで、米国フロリダ州・デイトナビーチで開かれ、34カ国から103人のたくましく乙女たちが参加しました。

中国チームは、82・5キロ級を除く8階級に9人が出場しました。陳愛珍、黄曉瑜、嚴章郡、崔愛紅、會新玲、高麗娟、李紅玲、韓国美、蔡軍の面々で、いずれも昨年5月の国内の女子重量挙げ選手権で優勝した強豪たちです。

中国の女子重量挙げの歴史は浅く、84年の4月に山東省の農村で始まり、またたく間に全国20余省に普及し、国際舞台でどこまでやれるかが最大の関心事でした。

この国際試合で、最初に世界チャンピオンになったのが、44キロ級に出場した蔡軍選手で、弱冠16歳の乙女です。その後、中国チームは中・重量級のクラスでも破竹の勢いで金メダルをさらって、獲得総数は27個のうち22個にもなり、世界ナンバーワンの実力を示しました。しかし薛得明監督はいたって謙虚で、「安心は禁物。ブルガリア、ハンガリー、アメリカは重量級クラスの層が厚いから、スナッチの力をもっとつけないと一二年後には追い越されてしまう」といっています。
〔人民中国〕

米国 U.S.A.

■大リーグ初の女性審判誕生ならず
初の女性審判誕生なるかと注目を浴びていた、今年の米大リーグ。しかし先日発表された審判員リストの中には、残念ながら彼女は入っていませんでした。

彼女の名前は、バム・ボステマ(34歳)。マインナーリーグで、11年の審判歴があり、この5年間は大リーグのすぐ下のリーグ、3Aで活躍し、選手や監督のほとんどは、彼女の審判としての仕事に満足し評価しています。女性であるがゆえに男性審判に劣っているところはなく、技術的には、大リーグへの昇格も当然と期待されています。

そこへ米大リーグ球団ヒューストン・アストロズのボブ・ネバー投手の「大リーグの審判は女性の仕事ではない。女性が劣っているというのではないが、私は女性が指導的地位に就くべきではないと思う」という発言があり、女性団体からの抗議が殺到したりと物議をかもしました。ネバー投手の発言が、女性審判誕生ならぬ直接の理由かどうかはわかりませんが、何とも、初めて、このことを実現させるには、多くの壁にぶつかり、それを突破しなければならぬようです。彼女の努力と周囲の理解が早く実を結んでほしいと思います。
〔AP〕